

商いの新しいものさし

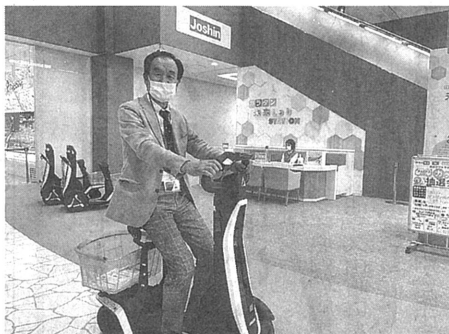
(株)商い創造研究所
代表取締役

松本 大地

第136回

来館高めるカラフルタウン 岐阜の奮闘

商業施設の売り上げは、買い上げ客数×客単価で構成される。人口が伸びた昭和の時代は母数となる顧客人数が増加し、常に売上前年比アップが課せられてきた。しかし、人口の伸びが止まり、かつネット通販が広がるなど、顧客人数の確保が難しくなってきた。さらに新型コロナウイルスの災禍により来館者が制限されるなど、多くの商業施設は苦渋の事態に遭遇した。いかに来館頻度を高める施策ができるか、商業デベロッパーの力量が問われている。



「地域に必要なとられ、大きなSCを楽に移動できるアイリーエアーイ」

顧客との信頼関係を築いている施設には、人を引き寄せる磁力がある。そんな印象を抱いたのは、岐阜市郊外のトヨタ自動車による工場敷地を活用した初のSC事業として、2000年に開業した「カラフルタウン 岐阜」だった。敷地面積13万4000㎡、延べ床面積11万㎡、リース面積7万㎡、イートヨーカドーの食品売り場を核にした県内最大級のSCだが、現在は空きテナント区画もなく、売り上げもコロナ前を上回る。その理由は順調な入館者数の伸びであり、21年度「チョイソコ カラ

は836万人とコロナ前の19年829万人を上回った。訪れる人に楽しい、心地良いと感じてもらえるよう、ソフトの充実を続けてきた館には、施設のビジョン、ミッションが見えてきた。最大の要

点とはトヨタ自動車が増してきたリソース(資源)を使い、SC事業と社会的価値との結び付けを追求していることだった。いくつかの取り組みを紹介すると、「ILYEA(アイリーエアーイ)」は商業施設特化型パーソンナルモビリティで、SC内の買い物物を快適にする近未来の乗り物として現在実証実験中だ。小さな子供も同乗できる安全性の高さもあり、今後は全国のSCでも導入される可能性もあるだろう。

「カラタンキッズクラブ」は小学生以下の子供会員のコミュニティとしてキッズクラブ会員限定参加イベントのほか、来店時に持参カードを示すとスタンプが押され、6個でガチャガチャ、10個で特選商品プレゼントの特典がある。視察時に親子連れの子供がスタンプを押しもらう場面に遭遇した際、カウンターの女性が「おめでとうございます」と笑顔を添えて話しかけ、家族で喜ぶ光景を目にすることができた。

親会社であるトヨタ自動車は、20年にあらゆるモノやサービスがネットを介してつながる都市「コネクティッド・シティ」を静岡県裾野市に建設すると発表した。技術やサービスの開発を実証、新しいビジネスモデルを生み出し続ける街をつくる。その際はカラフルタウン 岐阜やトレッサ横浜で重ねた「SCと街づくり」は、新たなリソースとして大いに役立つだろう。

「アイリーエアーイ」は商業施設特化型パーソンナルモビリティで、SC内の買い物物を快適にする近未来の乗り物として現在実証実験中だ。小さな子供も同乗できる安全性の高さもあり、今後は全国のSCでも導入される可能性もあるだろう。

「カラタンキッズクラブ」は小学生以下の子供会員のコミュニティとしてキッズクラブ会員限定参加イベントのほか、来店時に持参カードを示すとスタンプが押され、6個でガチャガチャ、10個で特選商品プレゼントの特典がある。視察時に親子連れの子供がスタンプを押しもらう場面に遭遇した際、カウンターの女性が「おめでとうございます」と笑顔を添えて話しかけ、家族で喜ぶ光景を目にすることができた。

親会社であるトヨタ自動車は、20年にあらゆるモノやサービスがネットを介してつながる都市「コネクティッド・シティ」を静岡県裾野市に建設すると発表した。技術やサービスの開発を実証、新しいビジネスモデルを生み出し続ける街をつくる。その際はカラフルタウン 岐阜やトレッサ横浜で重ねた「SCと街づくり」は、新たなリソースとして大いに役立つだろう。

親会社であるトヨタ自動車は、20年にあらゆるモノやサービスがネットを介してつながる都市「コネクティッド・シティ」を静岡県裾野市に建設すると発表した。技術やサービスの開発を実証、新しいビジネスモデルを生み出し続ける街をつくる。その際はカラフルタウン 岐阜やトレッサ横浜で重ねた「SCと街づくり」は、新たなリソースとして大いに役立つだろう。